

要請番号 (JL02618A23)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|--------|------------|------|------|----|------|-------------------|
| 東ティモール | H103 歯科衛生士 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2018/3 ・ 2019/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

保健省

2) 配属機関名（日本語）

バウカウ県保健局

3) 任地（バウカウ県バウカウ）JICA事務所の所在地（ディリ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約3.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

当国第二の都市にある同局は保健省の管轄下にあり、感染症、非感染症、母子保健、健康教育増進、薬剤、疫学調査の6つの課がある。当局が管轄する県内6地区には50の村があり、全体で10の保健センター(CHC)と28のヘルスポートが配置されている。県全体の医療従事者には、医師(82名)・看護師(80名)・助産師(60名)・歯科医(1名)・歯科看護師(4名)・臨床検査技師(6名)・薬剤師(10名)等があります。県内住民約12万人の健康を支えている。同県への青年海外協力隊(JV)派遣は2014年の病院派遣(薬剤師JV)に始まり、現在理学療法士JVと薬剤師JVが県病院にて活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同県には2016年に改築された病院のほか、ヘルスセンターが10箇所、ヘルスポートが28箇所に配置されている。当国における医療水準は極めて低く、十分に知識・経験を積んだ医療従事者の不足、医療機器の未整備、医療物資の未入荷等、課題は山積みである。

歯科分野においては、同県に外国人歯科医1名と歯科治療を行う看護師が4名(うち市内に2名病院と保健局に)配置されている。健康や歯科のケアに関する知識が著しく不足しており、食事代わりにおやつを食べる子供も多く、歯を磨く習慣があまりない。歯ブラシを家族で共有する習慣もあり、子供の虫歯が急速に増えているのが全国的に大きな課題となっている。若年層における歯科予防知識の普及は同県としても重要な課題と認識しており、学校巡回等による歯科予防に貢献できる隊員を切実に求めている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

以下を、配属先・同僚と相談しながら、計画・実施する。

1. 徒歩・市内バスで通える圏内にある小学校・幼稚園において、歯科予防とケアに関する巡回指導を行う。
2. 活動上必要となる啓発教材・資料を作成する。
3. このほか自身の経験・知識・アイディアを生かしながら、住民の虫歯予防やケアに関する効率的・効果的な活動を行う。

*歯科に関するデータ収集・分析をもとに、教員や関係するスタッフ、保健ボランティアや母親に対して研修を実施することも可能。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

保健省作成の啓発媒体(ポスター)、机、椅子、コピー機、プリンター、プロジェクターなど
※保健省・健康促進課にも啓発資料各種あり

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・保健局長 50代男性、職員9名、うちCP2名(歯科看護師:40代男性、海外で歯科を学ぶ/健康増進担当:30代男性、公衆衛生、経験14年)
- ・他機関関係者:インドネシア人の若い歯科医1名(病院の患者数1日約15人)、ヘルスセンター職員44名、保健ボランティア(市内11村、各村5名、小中卒)

5) 活動使用言語

その他

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：(歯科衛生士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

[参考情報]：

- ・歯科衛生士/歯科医/歯科助手など

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(23~32°C位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(不安定)

【特記事項】

活動や生活では習得が容易なテトゥン語を使用する。

【類似職種】

- ・歯科医師
- ・学校保健

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。